

統合科目	解剖学・口腔解剖学
------	-----------

- 《履修上の留意事項》1. 講義時間数に限りがあり、重要な内容のみを扱うため講義中は集中して受講すること。
2. 講義内容を聞き取り、絶えずメモを取ること。
3. 質問は後回しにせず、その都度すること。

《担当者名》 歯学部教授 / 入江 一元 歯学部助教 / 高橋 昌己 歯学部助教 / 渋井 徹

【概要】

3年間の総まとめとして、専門臨床科目の知識をより深めるために、

1. 口腔解剖学で修得した頭頸部における構造（骨格、骨格筋、脈管、神経、口腔などの内臓）の重要事項を再度復習する。
2. 解剖学では、骨格系、筋系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、脈管系、神経系、感覚器系の10器官系の機能を担うための特徴的な構造を整理・復習する。

【全体目的】

解剖学的知識、特に頭頸部の構造に関する知識を整理統合し確認する。

【学修目標】

1. 頭蓋を構成する骨をを列挙する。
2. 頭蓋にみられる孔、管、突起などを指示する。
3. 上記の構造を通過する神経や動脈、付着する筋や靭帯を説明する。
4. 顎関節を構成する骨、円板、靭帯を説明する。
5. 含気骨と副鼻腔を列挙する。
6. 表情筋、咀嚼筋、舌筋、舌骨上筋、舌骨下筋を列挙し、運動を説明する。
7. 開口筋と閉口筋を説明する。
8. 心臓の構造と血液循環を説明する。
9. 大動脈からの分枝、外頸動脈・頸動脈・顔面動脈・舌動脈の分布を説明し、拍動を触知できる動脈を列挙する。
10. 頭頸部のリンパ節を列挙を列挙する。
11. 12対の脳神経を列挙し、働きを説明する。
12. 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経の働きを説明する。
13. 頭頸部の自律神経と神経節を説明する。
14. 口腔の構造を説明する。
15. 舌にみられる構造を説明する。
16. 大唾液腺と小唾液腺の位置と構造、分泌神経を説明する。
17. 咽頭を構成する筋と運動を説明する。
18. 喉頭を構成する軟骨、筋、脳神経を説明する
19. 人体を構成する10器官系を列挙する。
20. 各器官系を構成する器官（臓器、内臓）を列挙する。
21. 各器官（臓器、内臓）の働きを説明する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	骨学 頭蓋と顎関節	頭蓋（脳頭蓋と顔面頭蓋）を構成する骨と数を列挙し、指示する。 頭蓋にみられる孔・裂・突起・窩を説明する。 含気骨と副鼻腔を説明する。 顎関節を構成する骨、関節円板の構造、靭帯の種類を説明する。 プリント配布	高橋 昌己
2	骨学 骨口蓋と個々の骨	外頭蓋底の骨口蓋を構成する骨と連結、孔を説明する。 蝶形骨、側頭骨、上顎骨、下顎骨、舌骨など個々の骨を説明する。 プリント配布	高橋 昌己
3	頭蓋骨の模型実習	頭蓋骨の模型を用いて、頭蓋を構成する骨の種類、位置と数を復習する。 内頭蓋底と外頭蓋底にられる孔、突起、窩などの構造を指示し、説明する。	入江 一元 渋井 徹 高橋 昌己

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		プリント配布	
4	頭頸部の筋	表情筋、咀嚼筋、舌筋、舌骨上筋、舌骨下筋を列挙し、支配神経を説明する。 上記の骨格筋の運動を説明する。 頸部の筋（舌骨上筋と舌骨下筋を除く）を列挙する。 開口筋と閉口筋を説明する。 プリント配布	高橋 昌己
5	頭頸部の脈管系	心臓の構造を復習し、頭頸部へ向かう動脈の経路を復習する。 大動脈からの分枝を順に列挙する。 外頸動脈、顎動脈、顔面動脈、舌動脈の分布領域を説明する。 所属リンパ節を説明する。 プリント配布	渋井 徹
6	神経 1) 脳と脊髄	神経単位（ニューロン）を説明する。 脳の種類を列挙する。 大脳の機能局在を説明する。 脊髄の構成を説明する。 プリント配布	入江 一元
7	神経 2) 脳神経 3) 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経	12対の脳神経を列挙する。 三叉神経、顔面神経、舌咽神経、迷走神経、舌下神経の働きを説明する。 プリント配布	入江 一元
8	神経 4) 自律神経	頭頸部にみられる自律神経を説明する。 頭頸部にみられる自律神経節（交感神経節と副交感神経節）を説明する。 プリント配布	入江 一元
9	内臓学 口腔、舌、口腔粘膜、咽頭、喉頭、唾液腺	口腔を説明する。 口腔前庭と固有口腔にみられる構造を列挙する。 舌にみられる構造を説明する。 口腔粘膜を分類し説明する。 咽頭を構成する筋を列挙する。 喉頭を構成する軟骨と筋、運動と支配神経を説明する。 大唾液腺と小唾液腺を列挙し、分泌部位を説明する。 鼻腔、口腔、喉頭、咽頭の位置関係を説明する。 プリント配布	渋井 徹
10	器官系 1) 骨格系 2) 筋系 3) 消化器系	人体を構成する骨の種類を列挙する。 軟骨内骨化と膜内骨化を説明する。 筋の種類とその代表例を説明する。 人体の基本的な運動を説明する。 消化器系で、消化管と消化腺を構成する器官（臓器、内臓）を列挙する。 消化管と消化腺を構成する器官（臓器、内臓）の働きを簡潔に説明する。 プリント配布	高橋 昌己
11	器官系 4) 呼吸器系 5) 循環器系	上気道と下気道を構成する器官を列挙する。 大循環と小循環を説明する。 心臓を中心にして動脈系、静脈系とリンパ系を説明する。 プリント配布	渋井 徹
12	器官系 6) 泌尿生殖器系 7) 内分泌系 8) 感覚器系	泌尿生殖器系を構成する器官を列挙する。 内分泌と外分泌の定義と、分泌腺の種類を説明する。 内分泌器官の種類と分泌ホルモンを列挙する。 五感に担う感覚器を説明する。	渋井 徹

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		プリント配布	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験（100％）

【教科書】

全国歯科衛生士教育協議会 監修 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版
2012年

全国歯科衛生士教育協議会 監修 「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」 医歯薬出版 2011年

【学修の準備】

前年度までの教科書および講義資料、プリントを整理し内容について復習しておく。

予習：60分 各授業内容について事前に教科書を参考に予習する。

復習：60分 授業で指摘された内容を整理し演習問題を用いて復習する。